

(監事) 浅野, 塚本
(新任副会長) 小形
(新任理事) 佐藤
(UNITECR 2019 実行委員会事務局長) 前田

議事内容

・理事会成立確認

専務理事から出席者26名と委任状19名, 合計45名との報告があり, 理事会の成立が確認された。

【平成30年度事業報告(平成30年4月1日 ～平成31年3月31日)】

◎金重会長より, 第72回通常総会用資料を用いて「事業報告」が報告された。(以下1.～9.の各事項)

1. 会員状況

平成30年度は, 賛助会員の移動はなかった。個人会員は会費未納者は19名おり, 4月1日付で退会扱いとする。本年3月末時点の会員総数は冊子会員282名, Web会員514名, 学生会員8名, OB会員31名, 指定会員228名, 顧問・相談役・名誉会員15名, 合計1,078名となり, 前年度比31名の増となっている。購読会員数は, 国内・海外合わせて205名となっており前年度末比17名の減となっている。

2. UNITECR 2019

2019年10月13～16日開催に向けて, 募金小委員会・プログラム小委員会・会議運営小委員会で準備中。申込件数は301件と当初計画(200件)を大幅に上回った。募金活動は経団連募金・耐協会員・耐協維持会員・原料/機械メーカーを中心に積極的な募金活動を展開中。

3. 企画委員会

本年度は会員数の減少傾向には一応の歯止めが掛かったが, 学生会員数は他の学/協会と比較して極端に少なく, 今後の会員数増加を図る上で幅広く学生会員を増やすことが必要であり, 次の対策を実施する。

- ・学生会員は博士課程を卒業まで年会費を免除する。
- ・学生会員会費無償化, 研究助成金活動なども含めた協会活動を大学関係者にPRし認知度を高めるために, 協会のパンフレットを作成し, 会員企業が会社説明会を行う際に, 合わせて説明する。

4. 耐火物研究助成

耐火物協会と共同で実施している「耐火物研究助成」については, 2018年度として6件を5月までに助成完了。2019年度は, 大学, 公的研究機関も含めて4件の応募があり, 助成金選考委員会ですべてが採択され, 常任理事会と耐火物協会理事会で承認され, 耐火物誌3月号に

平成31年度理事会 議事録

日時: 平成31年4月19日(金) 11:05～12:25

場所: TKPガーデンシティ横浜

(2F カンファレンスルーム6)

出席者:(会長) 金重, (副会長) 黒田, 西村, 橋本

(理事) 會田, 有馬, 飯田, 江口, 上原, 大庭,
大矢, 尾関, 後藤, 佐野 (田中代理),
駿河, 平, 高野, 竹内, 中尾, 中村,
仲村, 藤井, 古田, 水摩, 安井, 細田

【出席理事26名/委任状19名】 ⇒ 【計45名】

掲載。2019年度は応募件数が少なかったため、1月1日～2月28日間で二次募集をした結果、8件の応募があった。4月9日の選考委員会で、この内4件が採択されたので、4月19日の理事会に諮り承認された。

5. 標準化委員会

1) 標準化活動

- ・役割を終えたWG17-2（珪石質標準物質値付け）とWG17-3（新分析方法の確立）を昨年8月に解散。WG18-2（ISO21068改正案検討）を2月に解散。標準物質関係では、WG18-3（JRRM320シリーズ偏析試験）を発足。
- ・WG18-1（JIS R 2115（通気率測定法）改正）はメール会議によりJIS改正提案を作成中。
- ・ISO国際規格関係では、10月16～17日に中国の杭州で開催されたISO/TC33会議に、村田先生と塩野先生が参加。
- ・ISO-WG17関係では、我が国提案の「SiC含有耐火物の蛍光X線分析方法」が昨年5月のFDIS（最終国際規格案）投票で承認され、ISO16169:2018として2018年7月26日に発行し、我が国提案ISO規格は21件となった。

2) 標準物質

- ・昨年7月に中国のお客様からJRRM803の成分値が異常との不具合報告があり、精査した結果、2007年に瓶詰めされたJRRM803は、誤って規格外原粉末が使用されていたことが判明。中国のお客様へは、報告書と正規JRRM803を送付。また、規格外品が送付されていたその他のお客様に対しては、リコール案内文と正規品を11月に送付。その後お客様からのクレームなどは受けていない。
- ・岡山セラミックス技術振興財団から昨年10月に「今後は標準物質に係わる作業/管理などは行わない」との申し入れがあり、急遽代替となる販売元を探した結果、西進商事㈱と販売総代理店契約を締結するに至り、本年3月より販売開始。
- ・岡山セラミックスセンターの保管室に保管されていた標準物質の在庫維持年数は、25～96年と過剰状態であったため、移転先の西進商事社保管室のスペースも考慮し一部を廃棄処分。この処分による廃棄損は4.6百万円。
- ・現在製作中の高アルミナ質標準物質（第2種）については、WG17-5による製造が終了し、現在WG18-3による鉍物組成・粒度分布の測定を実施中。

6. 編集委員会

- ・耐火物誌9月特集号は、重要なテーマであるにもかかわらず10年程取りあげていない「耐火物の分析・評価技術」をテーマとして発刊。
- ・耐火物誌投稿規定の改定（平成30年12月）。文献記

載書式見直しと物理量イタリック体表記の事例集の付録を加え、12月号に掲載。

- ・欧文誌投稿規定の改定（2018年12月1日）。文献の掲載書式の事例にウェブサイトを加えるなど一部を変更し、Vol.38No.4に掲載。
- ・耐火物誌の技術報告審査の手引きがなかったため、論文および技術報告審査の手引き（案）を作成し、審査の際に審査委員に送り、随時見直すことにした。
- ・前講座小委員会（耐火物に関する評価技術あれこれ）が終了し、新講座小委員会（明石委員長）を発足。

7. 会議・年次学術講演会・専門委員会・研究会

理事会、総会、常任理事会、年次講演会、専門委員会、研究会は以下の通り開催された。

- ・平成30年度理事会 4月23日（岡山国際交流センター 岡山市） 議事録 耐火物誌6月号会報
- ・第71回通常総会 4月23日（岡山国際交流センター 岡山市） 議事録 耐火物誌6月号会報
- ・平成30年度第1回常任理事会 7月25日（耐火物技術協会） 議事録 耐火物誌9月号会報
- ・平成30年度第2回常任理事会 10月29日（耐火物技術協会） 議事録 耐火物誌12月号会報
- ・平成30年度第3回常任理事会 1月23日（耐火物技術協会） 議事録 耐火物誌3月号会報
- ・第31回年次学術講演会 4月23日-24日岡山国際交流センター岡山市 耐火物誌3月号講演概要
- ・セメント用耐火物研究会 5月28日（日本教育会館）
- ・原料専門委員会 9月14日（岡山セラミックスセンター）
- ・環境と耐火物研究会 10月10日（日本教育会館）
- ・鉄鋼用耐火物専門委員会（鉄鋼協会耐火物部会後援） 11月26～27日（長良川国際会議場）

8. 支部活動

各支部とも総会・理事会を開催、講演会・見学会で活性化を図った。

9. 財務状況

〈会務〉

個人・賛助を含めた会費収入全体では20,667千円となり、対予算比▲166千円。購読会員数は平成29年度比で17名減であったが、予算繰込減少見込よりも少なく、収入では対予算比で+469千円。総会・専門委員会・研究会の収入は5,789千円で、対予算比+244千円。会務全体の総収入合計は、40,060千円。

支出では、耐火物誌発刊費用が9,419千円となり、対予算比447千円超過。欧文誌発刊費用は3,726千円となり、対予算比362千円超過。総会・専門委員会・研究会費用は5,857千円で対予算比157千円の超過。会務全体の総支出合計41,297千円。

以上の結果、平成30年度の会務全体の収益は、▲

1,237千円。なお、本収支報告では、収入の部に事業企画資金取崩(500千円)が計上されており、実質的な赤字額は▲1,737千円。

〈事業部〉

出版物部門では、耐火物手帳改訂12版が67冊、高温耐熱材料のポイント解説が24冊、築炉ハンドブックが48冊販売され、出版物全体で1,200千円の売上。

標準物質部門では、年間の売上セット数は75セットと例年の8割程度であったが、4月から実施した価格改定効果により、売上高は9,644千円と例年より多かった。

出版物部門と標準物質部門を合わせた今期の売上は10,843千円と好調で、当期純利益は1,572千円となり、繰越欠損金は743千円にまで減少。なお、一昨年の売上が10百万を超えたので、本年度決算で消費税160,600円を納付する見込。

◎「事業状況」に引き続き、黒田副会長から、第72回総会用資料を用いて「会計報告」が報告された。

【監査報告】

浅野監事から適法かつ正確との監査報告があった。

◎以上により、平成30年度の収支報告等は原案どおり承認された。

【2019年度事業計画・予算(2019年4月1日～2020年3月31日)】

◎金重会長より、第72回総会用資料を用いて「事業計画」が報告された。(以下1.～4.の各事項)

1. 本部

企画委員会

- ・現行のホームページを動作させているPHPのサポートが終了するため、NetCommons3にバージョンアップする。現在移行準備を進めており、5月の連休明けから暫定版を部分スタートさせ、順次全面移行する予定。
- ・学生会員の会費無償化、研究助成金活動なども含めた協会リーフレットを活用し、大学関係者への耐火物業界の認知度のアップ及び学生会員数増強策を図る。

国際交流

- ・耐火物技術協会主催のUNITECR 2019が10月13～16日にパシフィコ横浜で開催されるので、海外学協会との連携を深める。

UNITECR 2019実行委員会

- ・Proceeding提出締切を5月31日後に、プログラム作成。
- ・展示ブース申込が当初予定38小間を超え、20小間追加。
- ・会場運営マニュアル/人員配置計画などを作成し準備。

耐火物研究助成金選考委員会

- ・9月に募集要項検討、10月初から11月末を助成金申請期間として募集。12月に選考委員会を開催し、耐火物技術協会常任理事会、耐火物協会理事会の承認を経て決定。昨年度の応募件数は4件と低調であったので、本年度は積極的にPR活動を行う予定。

標準化活動(JIS, ISO, 化学分析用標準物質整備・頒布)

- ・標準物質関係では、高アルミナ質原粉末の偏析試験で製造に問題がないことを確認後、新たに値付けWGを発足し、値付け作業を開始。
- ・JIS R 2212-2(珪石質耐火物の化学分析方法)の改正は、改正案を作成し、JIS原案検討委員会に諮り、JIS改正を進める。
- ・JIS R 2115(通気率測定法)改正は改正案を作成し、JIS原案検討委員会に諮り、JIS改正を進める。
- ・ISO国際規格関係では、10月に横浜(パシフィコ横浜)でTC33会議を開催する予定。
- ・標準化委員会、国際規格適正化委員会、JIS原案検討委員会を各年2回、標準物質関係の3WGとJIS原案作成の2WGは各年1～4回程度開催の予定。

編集委員会(機関誌編集委員会, 講座小委員会, 出版物編集委員会)

- ・耐火物誌9月特集号のテーマは「耐火物原料」とし、近年の国内外の動向を中心とした有用な情報と、新しいテーマとして環境や安全衛生を考慮した耐火物原料に関する情報も含めて掲載する予定。
- ・耐火物として重要な役割を果たしている「MgO-Cれんが」の黎明期について、資料として4報連載する予定。

2. 各支部

総会、特別講演会、研究発表会、見学会を適時開催。会報にて案内を掲載。

3. 専門委員会, 研究会

セメント用耐火物研究会：セメント協会協賛

5月27日(月)開催予定 日本教育会館(東京)

原料専門委員会：9月13日(金)開催予定

岡山セラミックスセンター(備前市)

環境と耐火物研究会：11月開催予定(東京)

鉄鋼用耐火物専門委員会：日本鉄鋼協会耐火物部会後援
12月9日～10日(高山市)

4. 財務

会員名簿は、隔年で発行してきたが、最近では個人情報の管理が一段と厳しくなってきたので、今後は会員名簿を発行しない。これによる収支への影響は、名簿広告収入も含めて1.1百万円の減収となるため、引き続き会員数増強対策、コストダウンを図る。

なお、標準物質販売元変更に伴う管理範囲の拡大、高アルミナ質標準物質の製作などにより、標準物質に

係わる作業負担が増してきているので、事務所費・給与等の会務-事業部の負担割合の見直しを実施する。また、標準化委員会活動費についても、事業部負担を新設する。これらの振替により、会務の支出金額は、1.9百万円軽減する。

◎「事業計画」に引き続き、黒田副会長から、第72回総会資料を用いて「予算」が報告された。

⇒異議等はなく原案どおり、2019年度会務予算

37,701,700円は承認された。

【2019年度 協会理事等選任の件】

⇒原案どおり承認された。

【2019年協会賞受賞者の件】

⇒資料により、各賞の受賞者が報告された。

【2019年耐火物研究助成金（二次募集）の件】

⇒飯田委員長/新任から資料により報告された。

◎以上の審議を経て異議等はなく、第72回通常総会資料は全て承認された。

2018年度収支報告・2019年度予算

	2018年度収支	2019年度予算	
収入	会費	20,666,820	20,570,000
	欧文誌購読会費	5,018,119	4,900,000
	和文誌購読会費	1,020,663	950,000
	賛助広告	2,862,512	2,860,000
	標準化補助金	1,258,797	1,015,000
	総会・学術講演会	1,577,710	210,000
	専門委員会	4,211,146	3,830,000
	助成金分担金	2,000,000	3,000,000
	預金利子	1,743	1,700
	雑収入	447,095	125,000
	標準化資金取崩	0	0
	事業企画資金取崩	500,000	0
	若林賞資金取崩	120,000	120,000
	福井賞基金取崩	120,000	120,000
	剰余金取崩	0	0
	退職積立取崩	256,000	0
合計	40,060,605	37,701,700	
支出	耐火物誌発刊	9,418,687	9,401,000
	欧文誌発刊	3,725,531	3,847,200
	総会・学術講演会	2,002,801	1,200,000
	専門委員会	3,854,173	3,930,000
	標準化委員会	697,654	404,000
	企画委員会	485,392	250,000
	国際交流委員会	0	0
	一般会議費	25,680	40,000
	支部割戻金	679,840	690,000
	研究助成金	3,000,000	4,000,000
	事務所費	4,882,921	4,600,000
	人件費	9,450,182	6,936,000
	委託事務費	1,092,000	800,000
	退職金積立繰入	400,000	400,000
	通勤交通費	865,713	682,000
	消耗品	136,529	143,000
	雑費	202,199	216,000
	発送費	121,854	130,000
	退職金	256,000	0
	支出合計	41,297,156	37,669,200
次期繰越	▲ 1,236,551		
予備費		32,500	
合計	40,060,605	37,701,700	

*その他の報告資料

- ・UNITECR 2019 実行委員会：前田事務局長から資料により報告
 - ・企画委員会：後藤委員長/新任から口頭報告
 - ・標準化委員会：高野委員長から資料により報告
 - ・編集委員会：大矢委員長が口頭報告
 - ・原料専門委員会：川崎委員長/新任から口頭報告
 - ・環境と耐火物研究会：佐藤主査/新任から口頭報告
 - ・鉄鋼用耐火物専門委員会：安井委員長から口頭報告
 - ・九州支部活動状況：大庭支部長から口頭報告
 - ・中国四国支部報告書：有馬支部長から口頭報告
 - ・近畿支部活動状況：上原支部長から口頭報告
 - ・東海支部活動状況：橋本支部長から口頭報告
 - ・東部支部活動状況：駿河支部長から資料により報告
- 以上

2019年度理事一覧（○常任理事 *新任）

會田公治 ○明石孝也 ○天野洋一* ○有馬慎弥
 安斎浩幸 飯田正和 伊藤和男 ○今川浩志
 ○上原直樹 ○江口 宏 ○大庭康宏 ○小形昌徳*
 ○奥村尚丈 ○尾関文仁 ○加藤久樹 ○金重利彦
 川端浩二 ○木下人好 ○黒田浩太郎 木村 学
 ○後藤 潔 齋藤吉俊 ○齋藤敬治 ○佐藤芳則*
 塩野剛司 ○駿河俊博 ○平 初雄 ○高野 一寿
 ○竹内友英 ○竹内和彦 ○武次 浩 ○多田秀徳
 田中直人 田淵芳徳* 中尾 航 中村壽志 ○中村 真
 ○西 浩一 ○西田一城 ○西村聡之 ○野田和也
 ○橋本敏昭 橋本 忍 平田健次郎 ○藤井隆平
 ○古田直樹 ○細田 裕 堀 高志* ○水摩好博
 森川勝美 ○安井公宏 山崎一正 ○大和正明
 山本健三

2019年度 本部役員・理事

【会長】 黒田浩太郎

【副会長】

小形昌徳 (総務、会計担当/新任)
西村聡之 (編集担当)
橋本敏昭 (企画担当)
武次 浩 (国際交流)

【本部理事】

後藤 潔 (企画委員会委員長/新任)
高野一寿 (標準化委員会委員長)
橋本 忍 (機関誌編集委員会委員長/新任)
川崎正人 (原料専門委員会委員長/新任)
安井公宏 (鉄鋼用耐火物専門委員会委員長)
西田一城 (セメント用耐火物研究会主査)
佐藤芳則 (環境と耐火物研究会主査/新任)

【監事】 浅野敬輔 塚本 昇

【専務理事】 細田 裕

【事務局長】 磯尾典男

名誉会員

杉田 清 西野 忠

相談役

片岡慎一郎 篠原泰明 永井 敏 大和次夫
浅野敬輔 西尾英昭 塚本 昇 加山恒夫
中井一吉 野村 修

顧問

多喜田一郎 吉井洋子

2019年度支部理事

【理事】 ◎は支部長 ○は本部常任理事

【東部支部】

◎駿河俊博 (黒崎播磨株)
○木下人好 (品川リフラクトリーズ株)
○江口 宏 (耐火物協会) ○竹内友英 (新日鐵住金株)
○明石孝也 (法政大学)
○野田和也 (AGCセラミックス株)
○金重利彦 (品川リフラクトリーズ株)
○天野洋一 (品川リフラクトリーズ株)
會田公治 (JFEスチール株) 中尾 航 (横浜国立大学)
安齋浩幸 ((社)セメント協会)
○細田 裕 (耐火物技術協会)

【東海支部】

◎橋本敏昭 (イソライト工業株)
○尾関文仁 (美濃窯業株) ○加藤久樹 (株TYK)
○藤井隆平 (伊藤忠セラテック株)
橋本 忍 (名古屋工業大学)
伊藤和男 (株SNリフラクテック東海)

【近畿支部】

◎中村 真 (株セラテクノ)
○上原直樹 (AGCセラミックス株)
○西 浩一 (黒崎播磨株)
木村 学 (黒崎播磨株) 堀 高志 (日本ルツボ株)
中村壽志 (新日鐵住金株) 塩野剛司 (京都工芸繊維大学)

【中国四国支部】

◎有馬慎弥 (株セラテクノ) ○竹内和彦 (黒崎播磨株)
○多田秀徳 (品川リフラクトリーズ株)
○森田明宏 (帝国窯業株)
○大和正明 (興亜耐火工業株)
○平 初雄 (岡山セラミックス技術振興財団)
飯田正和 (品川リフラクトリーズ株)
山本健三 (黒崎播磨株)
川端浩二 (岡山工業技術センター)
田淵芳徳 (三石耐火煉瓦株)

【九州支部】

◎大庭康宏 (大光炉材株) ○後藤 潔 (黒崎播磨株)
○今川浩志 (日本製鉄株) ○古田直樹 (黒崎播磨株)
○奥村尚丈 (黒崎播磨株) 齋藤吉俊 (日本製鉄株)
山崎一正 (株ヤマサキ) 平田健次郎 (九築工業株)
田中直人 (宇部マテリアルズ株) 森川勝美 (黒崎播磨株)

平成31年 耐火物技術協会 協会賞

【功労賞】

伊熊泰郎 氏 神奈川工科大学 名誉教授
石野利弘 氏 AGCセラミックス株 元 常務取締役

【功績賞】

會田公治 氏 JFEスチール株 製鋼技術部
主任部員 (部長)
中村壽志 氏 日本製鉄株 広畑製鐵所 製鋼部
炉材技術室 室長
森 淳一郎 氏 品川リフラクトリーズ株 技術部
主任部員
後藤 潔 氏 黒崎播磨株 技術研究所 副所長

【貢献賞】

木下人好 氏 品川リフラクトリーズ株 執行役員
東日本工場長
小原 学 氏 (株TYK 理事)
寺牛唯夫 氏 AGCセラミックス株 開発センター
マネージャー
伏見哲郎 氏 黒崎播磨株 SN工場
シニアマネージャー

【優秀技術者賞】

奥田宏文 氏 美濃窯業(株) 四日市工場
生産課 アシスタントマネージャー
黒土裕一 氏 日本製鉄(株)大分製鐵所 製鋼部
炉材技術室 主査

【若林論文賞】

論文 Al_4SiC_4 における自己治癒エージェントとしての
の有用性
:耐火物 Vol.70 [5] 203- 208
横浜国立大学 大学院工学府 木村奈津子, 中尾 航
論文 塊状 $MgCr_2O_4$, MgO 及びマグネシア・クロム質耐
火物と銅スラグ融体の予測と反応実験
:耐火物 Vol.70 [4] 161- 169
愛媛大学 大学院理工学研究科 島田 岳, 武部博倫
論文 MgO - C れんがにおける MgO の還元速度に及ぼす気
孔率の影響
:耐火物 Vol.70 [10] 500- 506
品川リフラクトリーズ(株) 技術研究所
土井菜保子, 飯田正和, 大川幸男
論文 不活性ガス雰囲気におけるマグカーボンれんが
の高温強度の経時変化
:耐火物 Vol.70 [8] 347- 354
(株)神戸製鋼所 技術開発本部 機械研究所
河本恭平, 柳谷一行, 大竹 了

【福井進歩賞】

伊賀棒公一 品川リフラクトリーズ(株) 技術研究所
李 玲 黒崎播磨(株) 技術研究所
高橋尚巳 日本製鉄(株) 八幡製鐵所製鋼部炉材技術室
武藤大夢 伊藤忠セラテック(株)

【技術報告賞】

対象なし

以上